

研修・会議等報告書

平成31年4月2日

テーマ	平成30年度第4回戸田市国民健康保険運営協議会		
日時	平成31年2月19日	場所	市役所7回 第5委員会室
主催者	戸田市	費用	
講師		出席者	染川智行

内 容	
スケジュール（プログラム等）	
<ol style="list-style-type: none">1. 開会2. 委嘱状交付3. 部長あいさつ4. 委員紹介5. 案件審議<ol style="list-style-type: none">① 会長及び副会長選出② 平成30年度戸田市国民健康保険特別会計補正予算（案）について③ 平成31年度戸田市刻印健康保険事業運営方針及び事業計画（案）について④ 平成31年度戸田市国民健康保険特別会計当初予算（案）について⑤ 赤字削減・解消計画について6. その他7. 閉会	
概要	
案件審議	
<ol style="list-style-type: none">① 会長及び副会長選出 会長 斎藤委員（学識経験者 東洋大学） 副会長 榎本委員（戸田市社会福祉協議会） 上記2名を選出② 平成30年度戸田市国民健康保険特別会計補正予算（案）について （歳入歳出予算の補正） 既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ16千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12,163,700千円とする。 原案通り承認③ 平成31年度戸田市刻印健康保険事業運営方針及び事業計画（案）について 歳出の抑制と歳入の確保という両側面に配慮し、持続可能な国民健康保険運営を図る。 （歳出の抑制対策） 保健事業の促進<ul style="list-style-type: none">● 特定検診受診率及び特定保健指導実施率の向上を図る。● 保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき、糖尿病性腎症重症化予防事業、重複・頻回受診者への保健指導を実施し、被保険者の健康増進及び医療費抑制を推進します。● 資格の適用適正化やレセプト等の点検を強化するとともに、ジェネリック医薬品利用差額通知等を実施することで、医療費の適正化に努める。	

(歳入の確保対策)

- 平成 30 年度保険税率・均等割額の改正実施の効果検証や次の改定の方向性について検討する。
- 相扶共済の保険であることの啓発による納税意識の向上、口座振替の推進や、納税相談の機会創出に努め、税収の確保や被保険者の公平性の確保を図る。

原案通り承認

④ 平成 31 年度戸田市国民健康保険特別会計当初予算（案）について

- 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 11,596,809 千円と定める。
- 地方自治法の規定による一時借入金の借入れ最高額は、800,000 千円と定める。

原案通り承認

⑤ 赤字削減・解消計画について

原案通り承認

所感

平成 30 年度より、国保の税制運営が都道府県化された。各市町村は、県に納付金を納め一方でかかった医療費に応じて県から普通交付金を受ける仕組みとなった。これにより、不測の事態による医療費増があった場合も、県の交付金を原資とすることができるため国保財政の安定化に寄与する一方、戸田市は、医療費水準や所得水準が高いことから、県に収める納付金の割り当てについても他自治体に比べ多いため、国保財政は引き続き厳しい状況にある。

薬剤師として、ジェネリック医薬品の推進、ポリファーマシー問題への取組、セルフメディケーションの推進、ブラウンバッグ運動などを通じて、持続可能な医療財政の運営に貢献する活動を積極的に実施する必要性を実感した。

添付書類